

● 最近の県内経済

基調判断

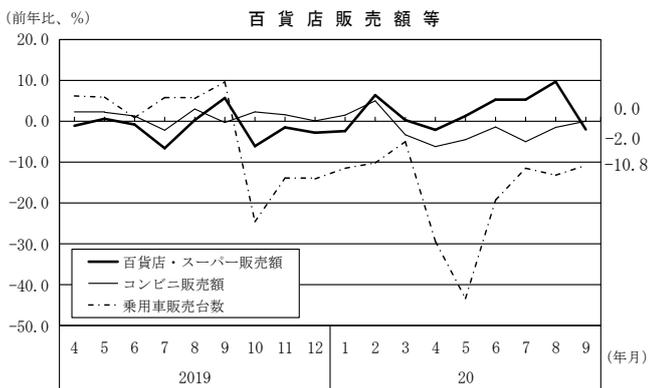
(2020年9月を中心として)



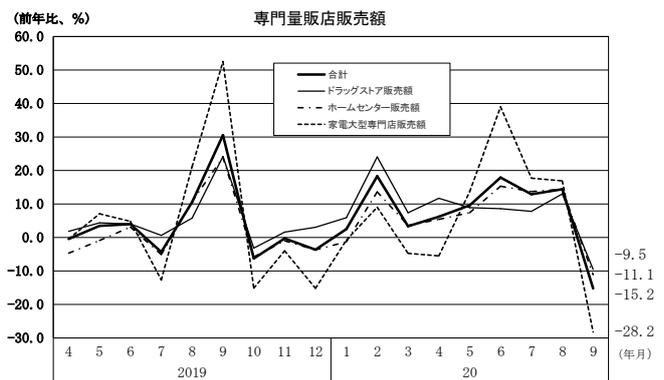
今月の概要

県内景気は、新型コロナウイルス感染拡大による経済への影響から、依然として厳しい状況にあるものの、このところ持ち直しの動きがみられる。

1 個人消費 一部で持ち直しの動きがみられる



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など



(資料) 経済産業省

個人消費は、消費増税前の駆け込み需要がみられた昨年9月比では、マイナスとなったものの、一部で持ち直しの動きがみられる。

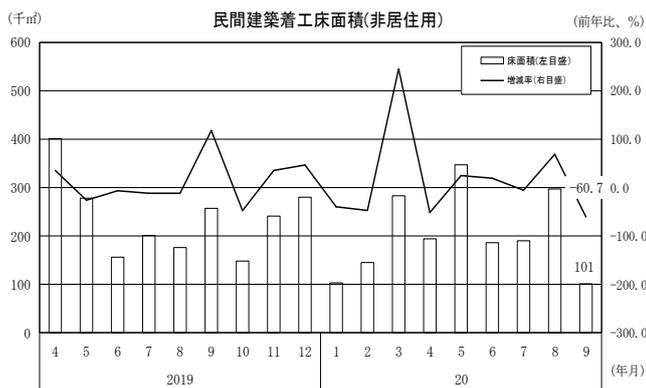
9月の百貨店・スーパー販売額（店舗調整前）は、1,046億円で前年比2.0%減となった。百貨店は同22.2%減と12か月連続の減少。一方、スーパーは同1.5%増と8か月連続の増加となった。また、コンビニ販売は534億円で同横ばいとなった。

乗用車販売は、同10.8%減と12か月連続の減少となった。内訳をみると、普通車（同12.1%減）、小型車（同16.0%減）、軽乗用車（同4.5%減）ともに減少した。

9月の専門量販店販売額は、702億円で前年比15.2%減となった。内訳をみると、家電大型専門店が169億円で同28.2%減、ドラッグストアが359億円で同9.5%減、ホームセンターが175億円で同11.1%減となった。

関東の消費者態度指数（原数値）は、8月〈28.7〉、9月〈32.1〉、10月〈32.7〉で推移している。

2 設備投資 下げ止まりつつある



(資料)国土交通省

9月の民間建築着工床面積(非居住用)は、101千㎡で前年比60.7%減となった(5か月後方移動平均では前年比5.0%増)。

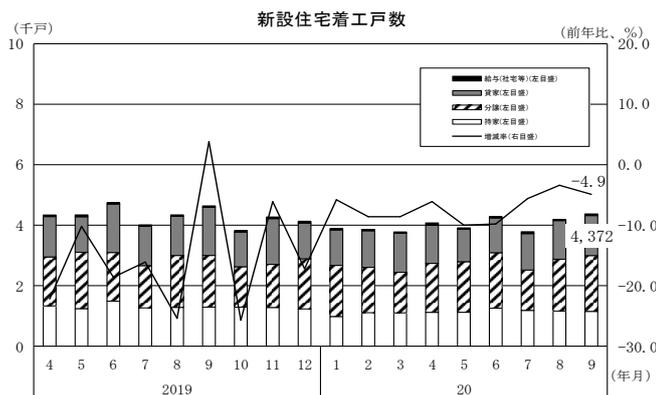
用途別にみると、工場及び作業場が増加した一方、事務所、店舗、倉庫はいずれも減少した。



(資料)埼玉県

8月の資本財出荷指数(季節調整済)は、67.5で前月比6.6%の減少となった(2か月連続の減少)。

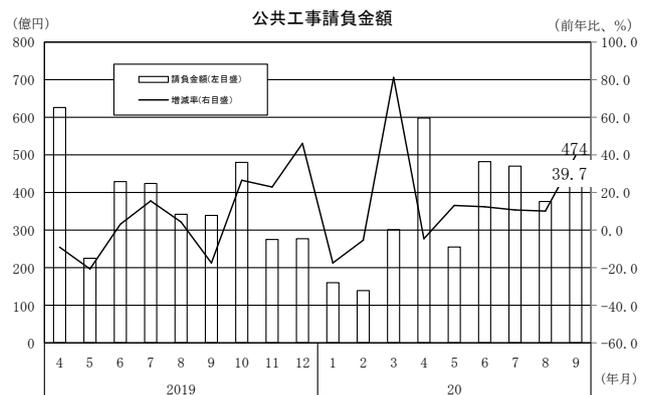
3 住宅建設 下げ止まりの兆しがみられる



(資料)国土交通省

9月の新設住宅着工戸数は、4,372戸で前年比4.9%減と12か月連続の減少となった。利用関係別にみると、分譲マンション(954戸)が同120.3%増となった一方、持家(1,149戸)が同10.9%減、貸家(1,323戸)が同16.8%減、分譲一戸建(892戸)が同29.7%減となった。

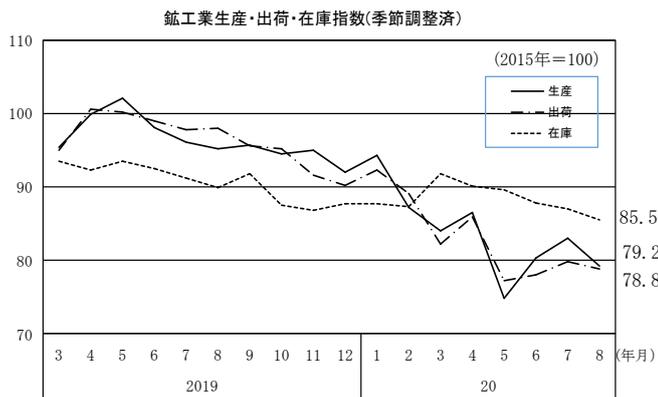
4 公共工事 増加基調



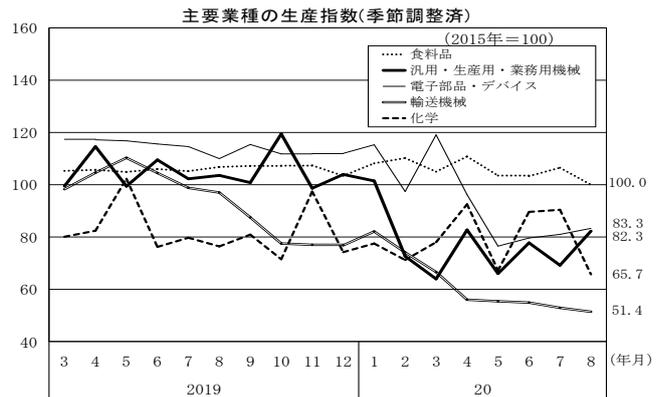
(資料)東日本建設業保証株式会社

9月の公共工事請負額は、474億円で前年比39.7%増となった(5か月後方移動平均では前年比16.9%増)。発注者別でみると、国、独立行政法人等、都道府県、市区町村の全てで増加した。

5 生産活動 下げ止まりつつある



(資料)埼玉県



(資料)埼玉県

8月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、79.2で前月比4.6%低下(3か月ぶりの低下)。生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、包装・荷造機械)、非鉄金属(アルミニウム圧延製品、電力用電線・ケーブル)などが上昇したが、化学工業(医薬品)、業務用機械(医療用機械器具、試験機)などは低下した。

出荷指数(同)は、78.8で同1.3%低下(3か月ぶりの低下)。非鉄金属(アルミニウム圧延製品、アルミニウム二次合金地金)、情報通信機械(カーナビゲーション、カーオーディオ)などが上昇したが、業務用機械(医療用機械器具、試験機)、食料品(炭酸飲料、清酒)などが低下した。

在庫指数(同)は、85.5で同1.7%低下した(5か月連続の低下)。生産用機械(マシンングセンタ)、非鉄金属(電力用電線・ケーブル、アルミニウム圧延製品)などが上昇したが、輸送機械(乗用車、けん引車)、化学(合成樹脂塗料、印刷インキ)などが低下した。

◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、100.0で前月比6.1%低下し、2か月ぶりの低下となった。

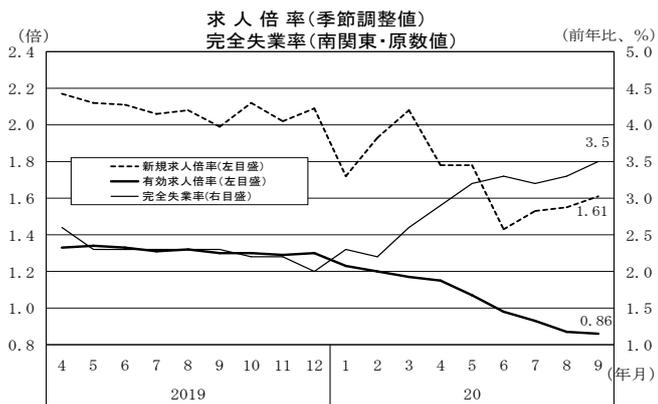
◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、82.3で同18.9%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

◆ 電子部品・デバイス(同)は83.3で同2.8%上昇し、3か月連続の上昇となった。

◆ 輸送機械(同)は、51.4で同2.8%低下し、7か月連続の低下となった。

◆ 化学(同)は、65.7で同27.3%低下し、3か月ぶりの低下となった。

6 雇用情勢 悪化している

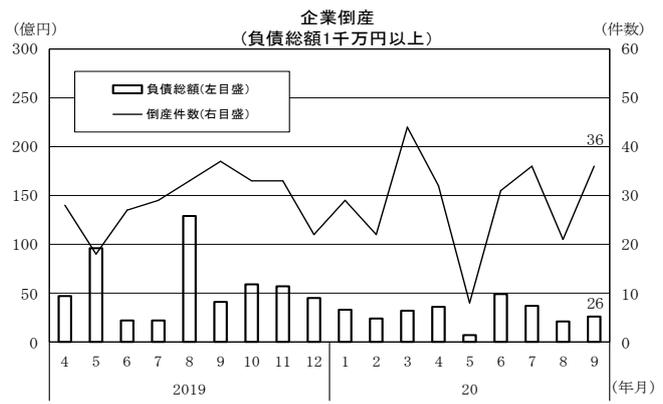


(資料)厚生労働省、総務省

9月の有効求人倍率(季節調整値)は、0.86倍で前月比0.01%低下した(9か月連続の低下)。4か月連続で1倍を下回った。新規求人倍率(同)は、1.61倍で同比0.06%上昇した。(3か月連続の上昇)

完全失業率(南関東、原数値)は、3.5%で前年同月比1.2%上昇した。(前年同月比8か月連続の上昇)

7 企業倒産 一進一退



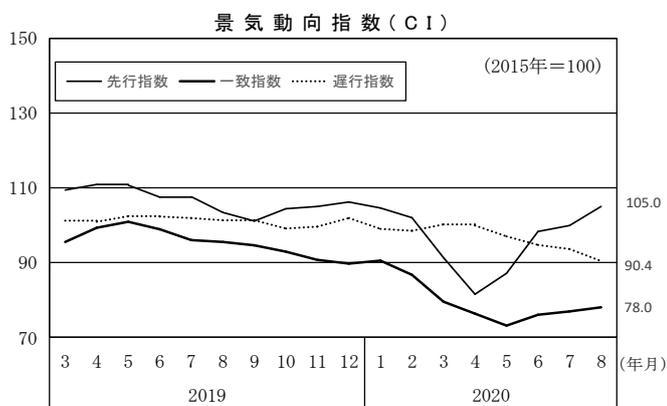
(資料)帝国データバンク

9月の企業倒産件数は、36件で前年同月比1件の減少となった。負債総額は26億円で同15億円の減少となった(5か月後方移動平均では、件数は前年比8.3%減、金額は54.8%減)。

業種別にみると、建設業とサービス業がそれぞれ10件で最も多く、次いで製造業と小売業がそれぞれ5件、卸売業が3件と続いている。主因別では、販売不振が33件となっている。

〈参考〉

景気動向指数(CI) 下げ止まりを示している



(資料)埼玉県

8月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、78.0で前月比1.1%上昇し、3か月連続の上昇となった。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、105.0で同5.1%上昇し、4か月連続の上昇となった。

CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、90.4で同3.2%低下し、5か月連続の低下となった。